

いまいは今
vol.147

発行 今井町並み保存会
発行日 平成24年9月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
今まちづくりセンターまで

第5回今井灯火会開催報告

8月4日(土)に開催されました「第5回今井灯火会」は盛況のうちに終了しました。

当日の昼は晴天に恵まれましたが、ときおり風が強く吹いており、準備はなかなか大変だったようです。

そんななか、春日神社では今井町なごみ会や大学生、小中学校の児童や生徒といった多様な年代の人たちによる共同作業で、七夕の飾り付けが行われていました。この笹飾りはライトアップされて多くの人々の目を楽しませてくれました。

点灯式は午後6時から今井まちなみ交流センター華薔の前で行われました。森下権原市長、権原権原市議会議長、岡本今井地区自治会会長代行といった方々をはじめとする来賓



の方々が掛け声にあわせてロウソクに火をとますと、参加者から大きな拍手が巻き起こりました。

点灯式で森下市長からは、「今井灯火会は住民の火に向かい合っていくという気持ちの表れでもあり、みんなが今井町を守っていくという気持ちをつないでいくための儀式でもある。第5回を迎える今回も皆さんと一緒に素晴らしい灯火会を楽しんでいきたい」という言葉をいただきました。

好天に恵まれた今回の灯火会には昨年を上回る来町者があり、町内各所でロウソクの光に映える町並みや、堀に浮かぶ灯籠流しを楽しむ人たちの姿を見ることができました。なかには着物を町を歩かれた方もいるようです。

また今井わかば会による呈茶席、春日神社の冷やし飴水、稱念寺での冷やし甘酒にも多数の来訪者があったと聞き及んでいます。

このように多くのイベントがありました。今井まちづくりセンターでは「おはなしのタペ」開催されました。今年で4回目となるこの催しにも、会場に入りきらなくらい多くの子どもたちが集まり、「権原おはなしの会」

のみなさんの話に耳を傾けていました。民話の語り聞かせあり、大型絵本をつかった「だじゃれ日本一周」あり、気が付くといつしか最後の「地獄のそうべい」が演じられる時間となりました。この大型紙芝居では、朗読を担当された佐野さんの巧みな語り口としくさもあり、この日一番の笑いが巻き起こりました。



わずか40分という短い時間でしたが、大人も子どもも楽しいひと時を過ごす事ができました。来年はもっと大きな会場で聞いてみたいと思います。

今回の灯火会は私たち今井町並み保存会が事務局を担当しましたが、準備や後片付けには今井防災会をはじめとする町内各団体や各地区の区長さんや住民のみなさんのご協力をいただきました。

このように今井町で行われる大きなイベントの開催には多くの方からの力添えがあってはじめて成り立つものがほとんどです。

これからも多様なイベントの開催を予定していますが、今井町住民のみなさんよりご助力を賜りますよう、お願い申し上げます。



朱雀高校今井PRビデオ制作研修

7月7日(土)奈良県朱雀高校情報工学科の生徒たちが今井のPRビデオを作成のため来町しました。

当日は午前中からの撮影の予定でしたが、大雨警報が出ていたため、午後からの撮影となりましたが、皆さん元気に八木西口駅に集まりました。

今回のPRビデオ作成に当たっては、事前の企画書から、住民インタビュー、撮影に至るまで自分たちの力で行われました。

高校生たちは最初に今井町を撮影するためにコンセプトを決めたのですが、そのタイトルが「現在も残っている奈良の歴史 く生き化石・今井町く」高校生から見ると、今井町もシーラカンスやカプトガニ級の珍しさ?

二班に分かれて早速撮影開始、まずは事前に連絡していた高木家を訪問。インタビューでは高木家は他の重文と比べてどこが違うか、などの質問を連発。早速、指導の近鉄ケーブルネットワークの先生から質問事項をまとめるようにと厳しい指導がありました。

次の河合家では、反省をひまえアングルにもこだわりインタビュー開始。順調に進む中、突然、ピンポンとチャイムの音。入口のセンサーに生徒がうっかり引っ掛かかりNGとなりました。

今西家では当主の人にしっかり撮影協力の挨拶もきっちりでき、短い間にも成長する姿

を見せてくれました。

最後の十返舎では、商品紹介をメインに撮影し、その日の撮影を終了しました。

生き化石って大胆なコンセプトについて、その意味を最後に尋ねると、時代劇のような町だと思っていたが、実際、今井の中では思っていた以上に商いが残っていたので、そのようなコンセプトにしたのだということです。出来上がったPRビデオは後日ケーブルテレビで放映される予定です。

毎ロケットのシャリマド

今井町が放映されるかも?

9月3日(月)午後9時からTBS系列で放映予定の「月曜ゴールデン浅見光彦シリーズ31著書幻想」に今井町が登場する予定です。

このドラマは内田康夫氏が生み出した探偵・浅見光彦が活躍するシリーズの一つで、今回は12年間光彦を演じてきた沢村一樹氏が、光彦役を卒業するということでも注目を集めています。

「万葉集の取材で奈良を訪れた浅見が、著書『萬葉集の取材で奈良を訪れた浅見が、著書』を証明しようとしていた研究者の殺人事件に巻き込まれて、その謎を解く」というのがドラマのあらすじだそうですが、はたしてそこに今井町がどうかからんでくるのか?まさに謎が謎を呼び展開となりそうです。(ちなみに今井町がどこで出てくるのかは私も知りません)

まちづくり亭今井寄席

題目及び演者決定のお知らせ

9月1日(土)開催の「まちづくり亭今井寄席」の題目及び演者が決定しましたのでお知らせします。観覧ご希望のかたは今井まちづくりセンターまでご連絡ください。(当日会場でも申し込みを受け付ける予定です)

題目

「向う付け」 古都家 芙路

「ちりとてちん」 古都家 錦柑

「こんにやく問答」 古都家 満弘

「元犬」 古都家 百和

演者

今年も奈良大学落語研究会「古都家一門」のメンバーがご出演してくださいます。若い方々が、古くからの話芸を楽しんでおられる姿。実に頼もしいですね。重伝建地区に住む我々にヒントを与えてもらっているのかも・・・

今井往来

9月2日(日)午後3時

稱念寺修理説明会(今井地区公民館)

編集後記

灯火会もだんだん広がり、にぎわいが感じられ、うれしいですね。秋からのいろいろなことも少しずつしっかりと実りあるものにしていければと思います。

※なお前回予告していました地藏祭り関連の記事はスペースの関係で次号に掲載します。